

(別記)

## 福祉サービス第三者評価結果公表事項（児童養護施設）

### ①第三者評価機関名

社会福祉法人 愛媛県社会福祉協議会

### ②施設名等

名称：社会福祉法人コイノニア協会 あすなる学園	種別：児童養護施設
施設長氏名：梶原 淳一	定員：50名
所在地：今治市中堀4丁目2番26号	TEL 0898-41-9233

### ③実施調査日

平成26年1月31日（金）～ 2月1日（土）

### ④総評

#### ◇ 特に評価が高い点

児童養護施設あすなる学園は、昭和31年6月に、保護者がいない等の理由により十分な養育が行き届かない子ども達を保護することを目的に設立された。平成18年には、小規模グループケア施設「初穂の家」を設立し、平成25年には本館を新築し、ユニット制（少人数）を導入した。個別的支援を重視した「小規模化と家庭的養護の推進」に向けた積極的な取組みは高く評価できる。

また、外部講師を招いた絵画や詩作活動にも取り組み、作品はNHKロビー展に出展されたり、当園の随所に常設展示されるなど、来園者の目を楽しませている。また、月例『あすなる通信』には児童作品の詩歌を掲載し広く関係機関等に紹介するなど、創造表現教育に熱心な施設として評価を得ている。

平成21年の第三者評価受審結果を受け、各種マニュアルの整備や支援方法等の改善に向けた取組みは評価できる。

#### ◇ 改善が求められる点

今年度の事業計画に盛り込まれた中・長期計画の具現化に向け、「社会的養護の課題と将来像」で掲げられている目標の実現と、入所児童にとって安心安全な養育環境作りの推進にさらに取り組まれることを期待したい。

### ⑤第三者評価結果に対する施設のコメント

調査機関の方には、登園の特色も含め現状の取り組みや支援のあり方などに対して時間をかけ丁寧に評価をして頂きました。

現状の問題点とは別に、中からは見えなかった点、気づき等沢山のアドバイスを頂くことが出来たことも、施設にとっては大きな収穫でした。

今回の評価結果を今後、全職員が共有し、更なる子どもの養育支援等の質の向上に努めていきたいと思っております。

### ⑥第三者評価結果（別紙）

## 第三者評価結果（児童養護施設）

### 1 養育・支援

(1) 養育・支援の基本	第三者評価結果
① 子どもの存在そのものを認め、子どもが表出する感情や言動をしっかり受け止め、子どもを理解している。	(a)・b・c
② 基本的欲求の充足が、子どもと共に日常生活を構築することを通してなされるよう養育・支援している。	(a)・b・c
③ 子どもの力を信じて見守るという姿勢を大切にし、子どもが自ら判断し行動することを保障している。	(a)・b・c
④ 発達段階に応じた学びや遊びの場を保障している。	(a)・b・c
⑤ 秩序ある生活を通して、基本的生活習慣を確立するとともに、社会常識及び社会規範、様々な生活技術が習得できるよう養育・支援している。	(a)・b・c
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <p>子ども中心の養育・支援に向けたユニット制の導入を機に、個別に子どもと触れ合える機会を増やすことと、単独勤務による職員の孤立化や弊害防止を目的に断続的勤務体制を取り入れることで勤務職員数の確保に努めている。</p> <p>小学生会・中学生会・高校生会・児童自治会及び各ユニットごとでの話し合いの機会を設定し、ルールづくり等可能な限り子ども達の自主性を尊重し、自分達で決められるよう心掛けている。</p> <p>年齢や個々の状況に応じて幼稚園への通園や、外部ボランティア（手話・絵画・英会話等）による支援体制は確立しているが、より家庭生活に近づける支援に向けたさらなる取組みに期待したい。</p>	

(2) 食生活	第三者評価結果
① 食事は、団らんの場でもあり、おいしく楽しみながら食事ができるよう工夫している。	(a)・b・c
② 子どもの嗜好や健康状態に配慮した食事を提供している。	(a)・b・c
③ 子どもの発達段階に応じて食習慣を身につけることができるよう食育を推進している。	(a)・b・c
(3) 衣生活	
① 衣服は清潔で、体に合い、季節に合ったものを提供している。	(a)・b・c
② 子どもの衣習慣を習得し、衣服を通じて適切に自己表現できるように支援している。	(a)・b・c
(4) 住生活	
① 居室等施設全体がきれいに整美されている。	(a)・b・c
② 子ども一人一人の居場所が確保され、安全、安心を感じる場所となるようにしている。	(a)・b・c
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p>	

食事は、ユニット単位で行われ、子どもと職員が協力して配膳から片付けまでを行い、笑顔と楽しい会話の絶えない和やかな雰囲気となっている。部活動等で帰園が遅くなる高校生に対しても温かい食事が提供できるよう配慮されている。

調理職員と直接処遇職員の参加する調理部会や子ども対象の嗜好調査により、より豊かな食事を提供できるよう努めている。

当園と学校間でアレルギーに関する情報を共有し、当園の食事と学校給食が安全かつ適切に提供できるよう留意している。

2人部屋を基本とした少人数での養育支援環境が基本だが、必要に応じて個室での対応も行われている。畳の部屋もあり、布団を敷く経験もできる。家具の配置を変えることで個々のプライバシーも最低限確保できる。各部屋にはエアコンも設置され快適な住環境が整備されている。

子どもによる食材の購入から調理に至る一連の体験ができる機会を作る等、各ユニットに配備された調理設備を有効活用し自立に向けた支援が行われるよう期待したい。

(5) 健康と安全	第三者評価結果
① 発達段階に応じ、身体の健康（清潔、病気、事故等）について自己管理ができるよう支援している。	a・b・c
② 医療機関と連携して一人一人の子どもに対する心身の健康を管理するとともに、異常がある場合は適切に対応している。	a・b・c
(6) 性に関する教育	
① 子どもの年齢・発達段階に応じて、異性を尊重し思いやりの心を育てるよう、性についての正しい知識を得る機会を設けている。	a・b・c
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <p>感染症や食中毒等に対処できるようマニュアルが整備されている。排泄後はペーパータオル、洗面時は子どもごとの個別タオルを準備して感染予防に努めている。</p> <p>インフルエンザ等の発症を想定し、集団からの隔離に備えた静養室も整備されている。</p> <p>健康及び特性等の配慮を要する子どもに対しては、医療機関と連携し定期的な受診と服薬を行なっている。</p> <p>本館建替等の理由で、昨年度開催できなかった外部講師を招いた性教育に関する学習会等の再開に期待したい。</p>	

(7) 自己領域の確保	第三者評価結果
① でき得る限り他児との共有の物をなくし、個人所有とするようにしている。	a・b・c
② 成長の記録（アルバム）が整理され、成長の過程を振り返ることができるようにしている。	a・b・c
(8) 主体性、自律性を尊重した日常生活	
① 日常生活のあり方について、子ども自身が自分たちの問題として主体的に考えるよう支援している	a・b・c
② 主体的に余暇を過ごすことができるよう支援している。	a・b・c
③ 子どもの発達段階に応じて、金銭の管理や使い方など経済観念が身につくよう支援している。	a・b・c

(特に評価が高い点、改善が求められる点)

日用品は個人の嗜好で購入でき、他の物品も可能な範囲内で反映するようにしている。居室には一人ひとりに配備されたクローゼット・学習机・たんす・収納ボックスがあり個人の所有物を収納している。

小学生会・中学生会・高校生会及び児童自治会等の意見や要望及び部活動や個々人の予定等を考慮して施設運営や行事立案等に反映している。

(9) 学習・進学支援、進路支援等	第三者評価結果
① 学習環境の整備を行い、学力等に応じた学習支援を行っている。	Ⓐ・b・c
② 「最善の利益」にかなった進路の自己決定ができるよう支援している。	Ⓐ・b・c
③ 職場実習や職場体験等の機会を通して、社会経験の拡大に取り組んでいる。	Ⓐ・b・c

(特に評価が高い点、改善が求められる点)

子どもの状況に応じて職員による学習支援や学習塾への通塾及び外部ボランティア（絵画・英会話等）による支援体制が確立している。

年齢や個々の状況に応じて高等学校及び特別支援学校等への通学支援体制も確立している。

受験生や高校生に対しては、個室化や消灯時間の延長等での対応で、落ち着いて学習できる環境が確保されている。

進路決定に際しては、子どもと保護者の意思を尊重し学校・児童相談所と連携して適切に支援している。中途退学者支援に向けた受け入れ体制も、要請があれば対応できるよう整備している。

職場実習マニュアルを作成し、職場実習やアルバイト体験が円滑にできるよう整備している。

(10) 行動上の問題及び問題状況への対応	第三者評価結果
① 子どもが暴力・不適応行動などの問題行動をとった場合に、行動上の問題及び問題状況に適切に対応している。	a・Ⓑ・c
② 施設内で子ども間の暴力、いじめ、差別などが生じないよう施設全体で取り組んでいる。	Ⓐ・b・c
③ 虐待を受けた子ども等、保護者からの強引な引き取りの可能性がある場合、施設内で安全が確保されるよう努めている。	a・Ⓑ・c

(11) 心理的ケア

① 心理的ケアが必要な子どもに対して心理的な支援を行っている。

a・Ⓑ・c

(特に評価が高い点、改善が求められる点)

子どもが当園で生活する時間帯に柔軟に対応できるよう職員を多く配置することで、日常生活の何気ない会話や寄り添いの機会を多くして、異変の早期発見と対応ができるよう心掛けている。

職員間の引継ぎ・朝会・職員会等で個々の子どもに関する情報を職員間で共有するよう努めている。不測の事態が生じた場合は、他のユニット職員が支援に加わる協力体制ができています。

今後は、発達障害や被虐待児等の有する特性に応じた、適切な指導ができるよう高度な支援スキルの習得に向けた職員研修の強化と、心理職員による「性暴力・被害等に関する個別プログラム等」の導入に期待したい。

(12) 養育の継続性とアフターケア	第三者評価結果
① 措置変更又は受入れに当たり継続性に配慮した対応を行っている。	a・b・c
② 家庭引き取りに当たって、子どもが家庭で安定した生活を送ることができるよう家庭復帰後の支援を行っている。	a・b・c
③ できる限り公平な社会へのスタートが切れるように、措置継続や措置延長を積極的に利用して継続して支援している。	a・b・c
④ 子どもが安定した社会生活を送ることができるよう退所後の支援に積極的に取り組んでいる。	a・b・c
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <p>措置変更時の引継ぎ手順が文書化され、確実に情報を伝達する等引継ぎには十分配慮している。</p> <p>卒園生に対するアフターケアを目的に、夏祭りとクリスマス会の開催日を毎年同じ日に設定し、卒園生が集まるきっかけづくりにしている。卒園生の生活や困りごと等があれば、その都度丁寧に相談に乗っていることは評価できる。</p>	

## 2 家族への支援

(1) 家族とのつながり	第三者評価結果
① 児童相談所や家族の住む市町村と連携し、子どもと家族との関係調整を図ったり、家族からの相談に応じる体制づくりを行っている。	a・b・c
② 子どもと家族の関係づくりのために、面会、外出、一時帰宅などを積極的に行っている。	a・b・c
(2) 家族に対する支援	
① 親子関係の再構築等のために家族への支援に積極的に取り組んでいる。	a・b・c
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <p>児童相談所との連携を図るために、子どもの活動等の様子が掲載された保護者通信「絆」を活用することが望まれる。</p> <p>また、親子支援室を有効活用して、親子宿泊体験の導入等による親子の再統合に向けた取組みに期待したい。</p>	

## 3 自立支援計画、記録

(1) アセスメントの実施と自立支援計画の策定	第三者評価結果
① 子どもの心身の状況や、生活状況を把握するため、手順を定めてアセスメントを行い、子どもの個々の課題を具体的に明示している。	a・b・c
② アセスメントに基づいて子ども一人一人の自立支援計画を策定するための体制を確立し、実際に機能させている。	a・b・c
③ 自立支援計画について、定期的実施状況の振り返りや評価と計画の見直しを行う手順を施設として定め、実施している。	a・b・c

(2) 子どもの養育・支援に関する適切な記録	
① 子ども一人一人の養育・支援の実施状況を適切に記録している。	a・ <b>b</b> ・c
② 子どもや保護者等に関する記録の管理について、規程を定めるなど管理体制を確立し、適切に管理を行っている。	<b>a</b> ・b・c
③ 子どもや保護者等の状況等に関する情報を職員が共有するための具体的な取組を行っている。	<b>a</b> ・b・c
(特に評価が高い点、改善が求められる点)	
<p>これまで別々に綴じていた自立支援計画票と日々の生活記録を一体化し、自立支援計画内容を有効に活用している。</p> <p>職員間で記録の内容や書き方等に差異が生じないように、養育記録作成要領等を整備されることを望みたい。</p>	

#### 4 権利擁護

(1) 子どもの尊重と最善の利益の考慮	第三者評価結果
① 子どもを尊重した養育・支援についての基本姿勢を明示し、施設内で共通の理解を持つための取組を行っている。	<b>a</b> ・b・c
② 社会的養護が子どもの最善の利益を目指して行われることを職員が共通して理解し、日々の養育・支援において実践している。	<b>a</b> ・b・c
③ 子どもの発達に応じて、子ども自身の出生や生い立ち、家族の状況について、子どもに適切に知らせている。	<b>a</b> ・b・c
④ 子どものプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備し、職員に周知するための取組を行っている。	<b>a</b> ・b・c
⑤ 子どもや保護者の思想や信教の自由を保障している。	<b>a</b> ・-・c
(2) 子どもの意向への配慮	
① 子どもの意向を把握する具体的な仕組みを整備し、その結果を踏まえて、養育・支援の内容の改善に向けた取組を行っている。	<b>a</b> ・b・c
② 職員と子どもが共生の意識を持ち、子どもの意向を尊重しながら生活全般について共に考え、生活改善に向けて積極的に取り組む。	<b>a</b> ・b・c
(特に評価が高い点、改善が求められる点)	
<p>毎月、個々の職員がケア内容チェック表をつけることで、適切な養育支援ができているか否かを確認し振り返る機会にしている。</p> <p>また、そのチェック表は全体でも集計し、施設全体の支援の質の向上を目指す資料として活用している。</p> <p>キリスト教主義に基づき設立されているが、日常生活において宗教色のある活動や制限はなく、思想や信教の自由は保障されている。</p> <p>ユニット化に伴い、ほのぼのとした温かい家庭の雰囲気醸し出している。</p>	

(3) 入所時の説明等	第三者評価結果
① 子どもや保護者等に対して、養育・支援の内容を正しく理解できるような工夫を行い、情報の提供を行っている。	a・b・c
② 入所時に、施設で定めた様式に基づき養育・支援の内容や施設での約束ごとについて子どもや保護者等にわかりやすく説明している。	a・b・c
③ 子どものそれまでの生活とのつながりを重視し、そこから分離されることに伴う不安を理解し受けとめ、不安の解消を図っている。	a・b・c
(4) 権利についての説明	
① 子どもに対し、権利について正しく理解できるよう、わかりやすく説明している。	a・b・c
(5) 子どもが意見や苦情を述べやすい環境	
① 子どもが相談したり意見を述べたりしたい時に相談方法や相談相手を選択できる環境を整備し、子どもに伝えるための取組を行っている。	a・b・c
② 苦情解決の仕組みを確立し、子どもや保護者等に周知する取組を行うとともに、苦情解決の仕組みを機能させている。	a・b・c
③ 子ども等からの意見や苦情等に対する対応マニュアルを整備し、迅速に対応している。	a・b・c
(6) 被措置児童等虐待対応	
① いかなる場合においても体罰や子どもの人格を辱めるような行為を行わないよう徹底している。	a・b・c
② 子どもに対する暴力、言葉による脅かし等の不適切なかかわりの防止と早期発見に取り組んでいる。	a・b・c
③ 被措置児童等虐待の届出・通告に対する対応を整備し、迅速かつ誠実に対応している。	a・b・c
(7) 他者の尊重	
① 様々な生活体験や多くの人たちとのふれあいを通して、他者への心づかいや他者の立場に配慮する心が育まれるよう支援している。	a・b・c
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <p>施設要覧・ホームページ等は整備され、希望に応じて見学等もできる。  当園内に相談室を設置するなど、子どもが気兼ねなく相談できる環境が整備されている。また、職員もじっくり子どもの話を傾聴するよう心掛けている。  園長ポストも設置され、意見を自由に言える環境も確保されている。苦情等に対する対応マニュアルも整備されている。</p>	

## 5 事故防止と安全対策

	第三者評価結果
① 事故、感染症の発生時など緊急時の子どもの安全確保のために、組織として体制を整備し、機能させている。	a・b・c
② 災害時に対する子どもの安全確保のための取組を行っている。	a・b・c
③ 子どもの安全を脅かす事例を組織として収集し、要因分析と対応策の検討を行い、子どもの安全確保のためにリスクを把握し対策を実施している。	a・b・c

(特に評価が高い点、改善が求められる点)

安全管理対応マニュアルを作成し、全職員に周知している。子どもの安全確保について協議し、定期的に園内を点検し危険場所の早期発見と対応に努め、事故報告書（ヒヤリハット）作成等で意識の啓発と支援内容の向上に努めている。

不審者に対する訓練の実施と、緊急事態に備えた地域自治会・消防・医療機関及び警察との連携強化に向けたさらなる取組みを望みたい。

## 6 関係機関連携・地域支援

(1) 関係機関等の連携	第三者評価結果
① 施設の役割や機能を達成するために必要となる社会資源を明確にし、児童相談所など関係機関・団体の機能や連絡方法を体系的に明示し、その情報を職員間で共有している。	Ⓐ・b・c
② 児童相談所等の関係機関等との連携を適切に行い、定期的な連携の機会を確保し、具体的な取組や事例検討を行っている。	Ⓐ・b・c
③ 幼稚園、小・中学校、高等学校、特別支援学校など子どもが通う学校と連携を密にしている。	Ⓐ・b・c
(2) 地域との交流	
① 子どもと地域との交流を大切にし、交流を広げるための地域への働きかけを行っている。	Ⓐ・b・c
② 施設が有する機能を地域に開放・提供する取組を積極的に行っている。	a・Ⓑ・c
③ ボランティア受入れに対する基本姿勢を明確にし、受入れについての体制を整備している。	Ⓐ・b・c
(3) 地域支援	
① 地域の具体的な福祉ニーズを把握するための取組を積極的に行っている。	Ⓐ・b・c
② 地域の福祉ニーズに基づき、施設の機能を活かして地域の子育てを支援する事業や活動を行っている。	Ⓐ・b・c
(特に評価が高い点、改善が求められる点)	
地元関係機関や団体との連携と情報の共有化に努め、地域福祉推進に向けた施設としての一定の役割を果たしている。	
地域主催の納涼祭や運動会及び園主催の夏祭り等の行事を通して積極的に交流を深め、地域に開かれた施設づくりに努めている。	
今後は、福祉（子育て等）の専門機関として、当園が有する知識や技術等を、積極的に地域住民に還元する取組みに期待したい。	

## 7 職員の資質向上

	第三者評価結果
① 組織として職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	Ⓐ・b・c
② 職員一人一人について、基本姿勢に沿った教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取組が行われている。	Ⓐ・b・c
③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行い、次の研修計画に反映させている。	a・Ⓑ・c
④ スーパービジョンの体制を確立し、施設全体として職員一人一人の援助技術の向上を支援している。	a・Ⓑ・c
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <p>基本計画の中で職員の教育・研修に関する基本姿勢は明示され、個々の職員の資質向上に取り組んでいる。</p> <p>今後は、報告された研修内容や成果に関する評価・分析・見直しと研修計画策定に至る仕組みを作ることで、さらなる人材育成の推進に期待したい。</p>	

## 8 施設の運営

(1) 運営理念、基本方針の確立と周知	第三者評価結果
① 法人や施設の運営理念を明文化し、法人と施設の使命や役割が反映されている。	Ⓐ・b・c
② 法人や施設の運営理念に基づき、適切な内容の基本方針が明文化されている。	Ⓐ・b・c
③ 運営理念や基本方針を職員に配布するとともに、十分な理解を促すための取組を行っている。	Ⓐ・b・c
④ 運営理念や基本方針を子どもや保護者等に配布するとともに、十分な理解を促すための取組を行っている。	Ⓐ・b・c
(2) 中・長期的なビジョンと計画の策定	
① 施設の運営理念や基本方針の実現に向けた施設の中・長期計画が策定されている。	a・Ⓑ・c
② 各年度の事業計画は、中・長期計画の内容を反映して策定されている。	a・Ⓑ・c
③ 事業計画を、職員等の参画のもとで策定されるとともに、実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われている。	Ⓐ・b・c
④ 事業計画を職員に配布するとともに、十分な理解を促すための取組を行っている。	Ⓐ・b・c
⑤ 事業計画を子ども等に配布するとともに、十分な理解を促すための取組を行っている。	Ⓐ・b・c

(特に評価が高い点、改善が求められる点)

法人の運営理念に基づいて当園の理念・基本方針等は策定されている。年度当初の全体処遇会議において職員に事業計画を配布し周知徹底が図られている。

また、法人や当園の運営理念は、事業計画・施設要覧・ホームページ等に記載されその役割と目指す方向性が示されている。子どもに対する説明は、小中学校生会・中学校生会・高校生会及び児童自治会において行われている。

当園の中・長期計画については、単年度事業計画の中にある中・長期の展望を踏まえ具体的な計画の策定と明示が望まれる。

(3) 施設長の責任とリーダーシップ	第三者評価結果
① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して明らかにし、専門性に裏打ちされた信念と組織内での信頼をもとにリーダーシップを発揮している。	a・b・c
② 施設長自ら、遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行い、組織全体をリードしている。	a・b・c
③ 施設長は、養育・支援の質の向上に意欲を持ち、組織としての取組に十分な指導力を発揮している。	a・b・c
④ 施設長は、経営や業務の効率化と改善に向けた取組に十分な指導力を発揮している。	a・b・c
(4) 経営状況の把握	
① 施設運営をとりまく環境を的確に把握するための取組を行っている。	a・b・c
② 運営状況を分析して課題を発見するとともに、改善に向けた取組を行っている。	a・b・c
③ 外部監査（外部の専門家による監査）を実施し、その結果に基づいた運営改善が実施されている。	a・b・c
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <p>施設長としての役割や責任については、必要に応じて各種会議で表明している。</p> <p>また、外部の会議や研修にも積極的に参加し、情報の収集と自己研鑽に努め、得られた知識等は職員に伝達する等有効活用に取り組んでいる。</p> <p>施設長は県内児童養護施設等の組織の会長も務め、施設内職員にとどまらず他施設の模範となる等、施設及び愛媛県の児童福祉推進に向け強いリーダーシップを発揮している。</p> <p>円滑な施設運営の改善に向けた外部監査の実施について検討を望みたい。</p>	

(5) 人事管理の体制整備	第三者評価結果
① 施設が目標とする養育・支援の質を確保するため、必要な人材や人員体制に関する具体的なプランが確立しており、それに基づいた人事管理が実施されている。	a・b・c
② 客観的な基準に基づき、定期的な人事考課が行われている。	a・b・c
③ 職員の就業状況や意向を定期的に把握し、必要があれば改善に取り組む仕組みが構築されている。	a・b・c
④ 職員処遇の充実を図るため、福利厚生や健康を維持するための取組を積極的に行っている。	a・b・c

<b>(6) 実習生の受入れ</b>	
① 実習生の受入れと育成について、基本的な姿勢を明確にした体制を整備し、効果的なプログラムを用意する等積極的な取組をしている。	a・ <b>㉑</b> ・c
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <p>法人の人事考課規程は整備されており、それを基に適正な人事考課がされている。</p> <p>平成27年度以降の国の施策動向を見据えた職員の増員等も視野に入れ、中・長期計画は作成されている。</p> <p>職員の離職率は低く、各年齢層及び男女比はバランスよく配置されており、養育・支援の質は確保されている。加えて将来的な法改正も視野に入れ、有資格者等の計画的補充も想定されている。</p> <p>福利厚生センターに加入し、職員の福利厚生に努めている。</p> <p>社会福祉士や保育士等の職種に配慮しながら年間30名程度の実習生を受け入れ、後継者の育成にも努めている。実習に関する要領等の書面化もされているので、今後は、実習種別ごとの効果的なプログラム等の整備に期待したい。</p>	

<b>(7) 標準的な実施方法の確立</b>	第三者評価結果
① 養育・支援について標準的な実施方法を文書化し、職員が共通の認識を持って行っている。	㉑・b・c
② 標準的な実施方法について、定期的に検証し、必要な見直しを施設全体で実施できるよう仕組みを定め、検証・見直しを行っている。	㉑・b・c
<b>(8) 評価と改善の取組</b>	
① 施設運営や養育・支援の内容について、自己評価、第三者評価等、定期的に評価を行う体制を整備し、機能させている。	㉑・b・c
② 評価の結果を分析し、施設として取り組むべき課題を明確にし、改善策や改善実施計画を立て実施している。	㉑・b・c
<p>(特に評価が高い点、改善が求められる点)</p> <p>文書化された標準的な実施方法を全職員に配布する等して周知されている。ユニットのリーダーを中心に職員間の連携を密にとり、共通認識を持って養育・支援することで一定の水準を保つよう努めている。</p> <p>毎年、ユニット単位で実施方法等に関する見直しを行い、その結果を施設長と協議修正し評価に反映している。また、その記録が保存されている。</p> <p>前回の第三者評価に基づき全職員（ユニット単位）で自己評価を実施し、分析の過程で課題の共有化が図られた。その後も必要に応じて見直しは行われている。</p>	